

水道標準プラットフォーム
IT 基盤提供サービス仕様書

Ver1.0

株式会社 J E C C

内容

本仕様書で使用する用語について	1
はじめに 本書について	1
ドキュメント体系について	1
1. サービス概要について	2
1.1 サービス概要	2
2. 提供機能について	3
2.1 IT 基盤提供サービス	3
2.1.1 目的	3
2.1.2 概要	3
2.1.3 機能	4
3. SLA(Service Level Agreement)について	7
3.1 サービスレベルの適用範囲について	7
3.2 サービスレベルについて	7
3.2.1 稼働率について	7
3.2.2 SLA 適用対象について	8
3.3 返金について	8
3.4 サービスレベルの対象外について	8
4. 障害対応	8
4.1 動作監視	8
4.2 システム停止を伴うメンテナンス	9
4.3 障害時における役割分担	9
5. 利用条件について	9
5.1 手続き	9
5.2 準備	10
5.3 利用環境	10
6. 問い合わせ対応	10

本仕様書で使用する用語について

本仕様書では以下の用語を用います。

- ・GW(ゲートウェイ)
- ・AP(アプリケーション)
- ・PF(プラットフォーム)
- ・IF(インターフェイス)

はじめに 本書について

本仕様書は、株式会社 JECC（以下、当社）が水道標準プラットフォームサービス（以下、本サービス）を提供するにあたり、サービス提供内容等を定めるものです。

ドキュメント体系について

サービス利用約款、サービス仕様の体系について、以下に示します。

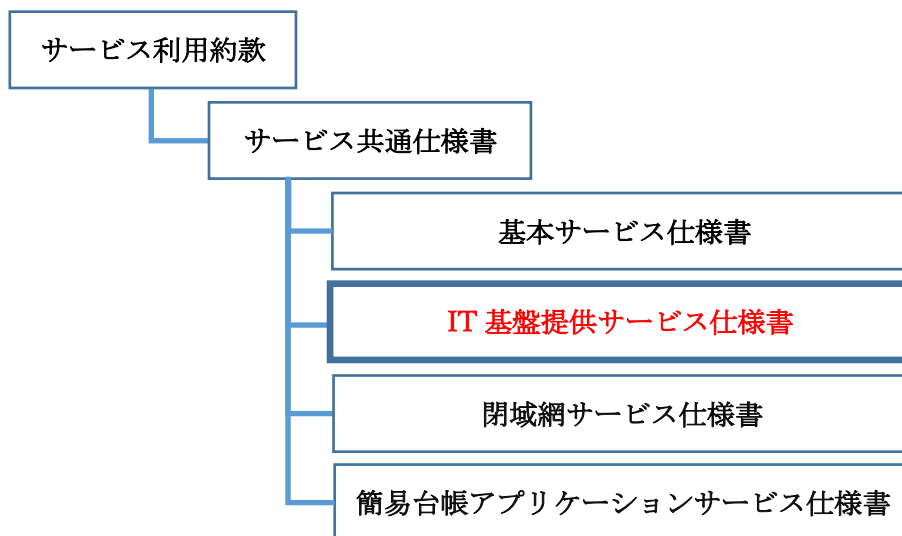


図 0-1: ドキュメント体系図

1. サービス概要について

1.1 サービス概要

IT 基盤提供サービスの提供範囲は「図 1-1」を参照ください。

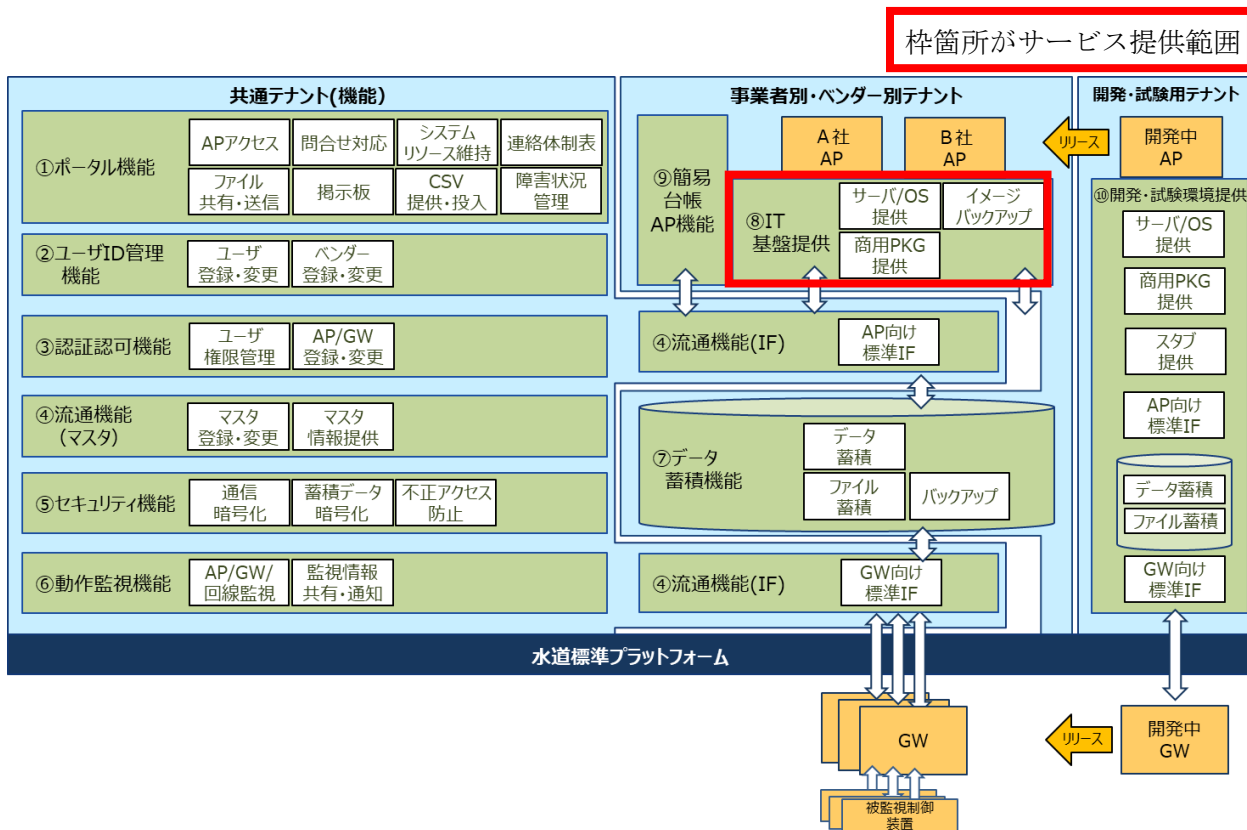


図 1-1: 水道標準プラットフォーム全体構成図

2. 提供機能について

2.1 IT 基盤提供サービス

2.1.1 目的

IT 基盤提供サービスは、アプリケーションを稼働させるための仮想サーバの提供や仮想サーバに対する付帯機能を提供するサービスです。

2.1.2 概要

IT 基盤提供サービスでは、「表 2-1」の機能を提供します。

表 2-1: IT 基盤提供サービス一覧

No.	サービス名
1	仮想サーバ提供サービス
2	商用 OS 提供サービス
3	商用パッケージサービス
4	サーバディスク追加サービス
5	サーバイメージバックアップサービス
6	WAF サービス
7	ウイルス対策ソフトウェア（ホスト型）提供サービス
8	仮想サーバ管理画面機能（※）

※仮想サーバ管理画面機能は、ベンダーテナントに付帯するサービスです

2.1.3 機能

(1) 仮想サーバ提供サービス

申請書の内容に基づき、当社にて仮想サーバの構築を実施し、サービス利用者に提供します。構築完了後、サーバの管理者権限は、当社よりサービス利用者へ提供させていただきます。

本サービスで提供するサーバ種類は「表 2-2」の通りとなります。

表 2-2: 仮想サーバ提供サービスメニュー一覧

スペック (CPU-メモリ)	ルートディスク	OS
1CPU-2GB	40GB	CentOS ※商用 OS に変更することが可能です。
1CPU-4GB		
1CPU-8GB		
2CPU-4GB		
2CPU-8GB		
2CPU-16GB		
4CPU-8GB		
4CPU-16GB		
4CPU-32GB		
8CPU-16GB		
8CPU-32GB		
8CPU-64GB		
16CPU-32GB		
16CPU-64GB		
16CPU-128GB		
32CPU-64GB		
32CPU-128GB		

仮想サーバのスペックについては、お申込みをいただくことで変更可能です。なお、スペック変更時には、仮想サーバの停止が伴います。

(2) 商用 OS 提供サービス

(1) で選択した仮想サーバに導入する商用 OS を提供するサービスとなります。導入が可能な商用 OS は「表 2-3」の通りとなります。

表 2-3: 商用 OS 提供サービスメニュー一覧

メニュー	種類
OS(商用)提供サービス	WindowsServer
	Red Hat Enterprise Linux

(3) 商用パッケージ提供サービス

(1) で選択した仮想サーバに導入する商用パッケージを提供するサービスとなります。導入が可能な商用パッケージは「表 2-4」の通りとなります。

表 2-4: 商用パッケージ提供サービスメニュー一覧

メニュー	種類
商用パッケージ提供サービス	SQLServer
	OracleDatabase StandardEdition
	OracleDatabase EnterpriseEdition

(4) サーバディスク追加サービス

(1) で選択した仮想サーバに追加するディスクを提供するサービスとなります。追加可能なディスクサイズは、「表 2-5」の通りとなります。

表 2-5: サーバディスク追加サービスメニュー一覧

メニュー	追加可能なディスクサイズ
ディスク追加サービス	40GB
	80GB
	100GB
	300GB
	500GB
	1TB
	2TB
	3TB
	4TB

仮想サーバにディスクを追加する際には、仮想サーバの停止が必要となります。なお、利

用中のディスクの拡張は出来ません。

(5) サーバイメージバックアップサービス

(1)で提供した仮想サーバのイメージバックアップ機能を提供します。選択できるバックアップのメニューは「表 2-6」の通りとなります。イメージバックアップを取得するために対象サーバに Agent の導入が必要となります。

表 2-6: サーバイメージバックアップサービスメニュー一覧

メニュー	取得タイミング	保管期間
スケジュールバックアップ	日次	7 日保管
		30 日保管

取得したイメージバックアップのリストアについて、リストアは当社との連携によるリストアとなります。

(6) WAF サービス

(1)で提供した仮想サーバの Web アプリケーションへのセキュリティ対策として、WAF (Web Application Firewall) を提供します。WAF に対する管理者権限をサービス利用者に提供し、設定はサービス利用者側で実施いただきます。

なお、WAF で提供される機能は「表 2-7」、選択可能なメニューについては「表 2-8」の通りとなります。

表 2-7: WAF サービス機能一覧

提供する機能
シグネチャベースの Web 検疫
DoS プロテクション
IP アドレスによるアクセス制御
アンチウイルス
IP レピュテーション

表 2-8: WAF サービスメニュー一覧

プラン	CPU	Memory	Interface 数
2CPU-4GB	2CPU	4GB	1
4CPU-6GB	4CPU	6GB	1

(7) ウイルス対策ソフトウェア(ホスト型)提供サービス

(1)で作成した仮想マシンに導入するウイルス対策ソフトウェア(ホスト型)を提供します。ウイルス対策ソフトウェアは、DeepSecurity(トレンドマイクロ社製)の「表 2-9」の機能を提供します。

表 2-9: ウイルス対策ソフトウェア提供サービス機能一覧

提供する機能
ウイルス対策
侵入防御
ファイアウォール
Web レピュテーション
変更監視
セキュリティログ監視

(8) 仮想サーバ管理画面機能

仮想サーバ管理画面経由で仮想サーバの状態確認や開始・停止等の操作が実施いただける機能となります。

ベンダーテナントに構築した仮想サーバにのみご利用いただける機能であり、「表 2-10」の操作が実施可能となります。

表 2-10: 仮想サーバ管理画面操作一覧

操作項目	内容
コンソール画面への接続	仮想サーバのコンソール画面に接続する機能。
仮想サーバの開始・停止	仮想サーバの開始や停止が出来る機能

なお、本管理画面にはインターネット環境からアクセスしていただく必要があります。

3. SLA(Service Level Agreement)について

3.1 サービスレベルの適用範囲について

SLAを適用する機能は以下の通りとします。

- ・仮想サーバ提供サービス

3.2 サービスレベルについて

3.2.1 稼働率について

当社は各暦月において、月間利用稼働率が 99.95%を下回らないようにするための合理的な努

力を行うものとします(ただし、当社メンテナンスによる計画停止は稼働率から除外します。)

3.2.2 SLA 適用対象について

SLA は、サービス利用者に提供している仮想サーバの稼働までを適用対象とします。

3.3 返金について

当社が設定したサービスレベルを満たせなかった場合、サービス利用者は返金請求を行うことが出来ます。返金額については、月間の稼働率事に以下の表の通り、料率を設定しております。

表 3-1: 返金に関する料率

月の累積故障時間	月間稼働率	故障月の利用料金に対する返金額の料率
21 分 36 秒以下	99.95%	0%
21 分 36 秒超～86 分 24 秒以下	99.95%未満～99.80%以上	1%
86 分 24 秒超～432 分以下	99.80%未満 99.00%以上	3%
432 分超	99.00%未満	10%

3.4 サービスレベルの対象外について

以下については、SLA の適用範囲から除外します。

- (1) 事前通知した当社メンテナンス作業
- (2) サービス利用者誤操作による事象
- (3) 仮想サーバの OS の障害・不具合等に起因する事象
- (4) アプリケーションの不具合等に起因する事象
- (5) サービス利用者が固有で導入しているソフトウェアの不具合等に起因する事象
- (6) サービス利用者作業(再起動・シャットダウン)による事象
- (7) 利用している回線の障害
- (8) 開発環境・評価環境で発生した障害
- (9) 上記のほか、当社の責に帰することができない事由による停止の場合

4. 障害対応

4.1 動作監視

本機能が水道標準プラットフォームで動作するために必要なハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等は、当社で動作監視を実施します。

4.2 システム停止を伴うメンテナンス

本機能が動作するハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等のアップデート等で、システム停止を伴うメンテナンス作業を実施する場合は、事前に水道標準プラットフォームのポータルまたはメールにてご連絡致します。

ただし、緊急性・重要性の高い事象への対応が生じた場合は、この限りではありません。

4.3 障害時における役割分担

障害発生時は、障害発生個所に応じ、「表 4-1」の役割分担とします。

表 4-1: 障害時対応役割分担

障害発生個所	サービス利用者	当社
アプリケーション・ミドルウェア	○	-
仮想サーバ OS	○	△(※1)
仮想化基盤・ハードウェア	-	○
プラットフォーム側 NW(※2)	-	○

※1:仮想サーバの OS 上で発生した障害については、サービス利用者にてご対応いただきます。

当社はサポートとなります。なお、初期設定/サーバへの初回ログインおよび OS ライセンス認証までが当社サポート範囲となります。また、基本的な機能に関する不具合については、当社でお問合せの内容を確認し、知見のある範疇でのご対応となります。

※2:サービス利用者が持込した機器および引込回線の障害対応は、サービス利用者にて対応いただきます。

5. 利用条件について

5.1 手続き

利用申込の手続き後に、「利用申請書」「環境構築申請書」「初期情報設定シート」をサービス利用者にて準備頂き、環境構築を当社が実施いたします。手続きの概要は「図 5-1」を参照ください。

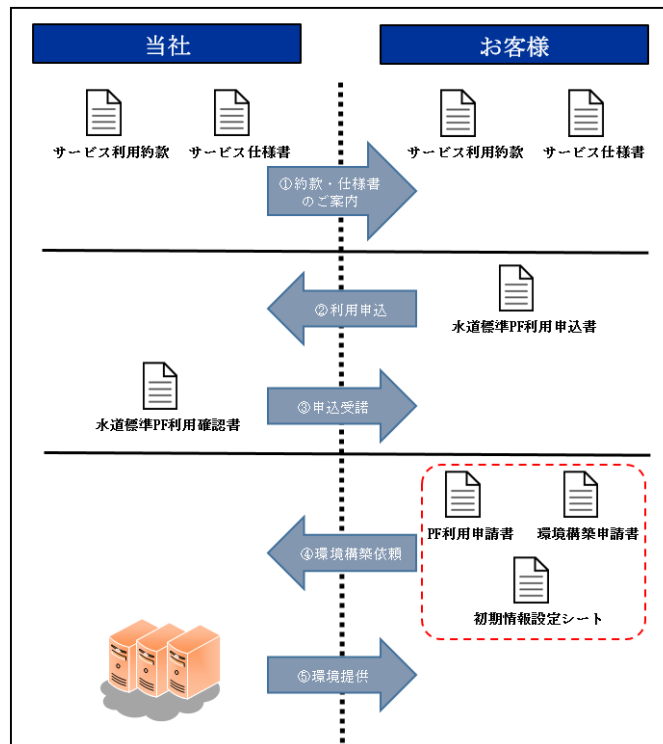


図 5-1: 手続き概要図

5.2 準備

仮想サーバへのリモート接続（SSH や RDP）を実施する場合は、水道標準プラットフォーム用の閉域網^(※)および閉域網接続用の端末、必要となるソフトウェアについてはサービス利用者側でご用意ください。

※閉域網については、閉域網サービス仕様書を参照ください。

また、仮想サーバ管理画面機能を利用する場合は、インターネット接続ができる端末をご準備ください。

5.3 利用環境

仮想サーバ管理画面機能の一部であるコンソール画面への接続する場合は、キーボード配列が英語キーボード（Standard (US) Keyboard）となります。日本語キーボード（JIS キーボード）等、その他言語のキーボードをお使いの場合は、一部、通常キーボード配列と文字が異なるものがございますのでご注意ください。

6. 問い合わせ対応

問い合わせ対応については「水道標準プラットフォームサービス共通仕様書」を参照ください。

改定履歴

版数	効力発生日	改定内容
第 1.0 版	2020/5/11	初版発行